

校長のドリームプランサポート事業（校長企画提案型予算）事業報告書

事業名	Nobeoka Expedition ー延岡探検隊ー
事業実施年度	令和2年度
事業実施内容	<p>1 本事業を活用するねらい</p> <p>(1)「わかあゆ教育プラン」の実現に向けて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>自分と郷土に『誇り』をもち、新たな価値を創造できる、明日に羽ばたく人間性豊かな子どもの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○確かな学力を付ける教育の推進 ○夢をはぐくむキャリア教育の推進 ○郷土延岡に誇りをもつ子どもを育てるふるさと教育の推進 ○教育コミュニティづくり（学校・家庭・地域の連携の充実） </div> <p style="text-align: center;">↑</p> <p>(2)「岡富中学校の教育目標」の達成に向けて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>挑戦する力（気力）、たくましいからだ（体力）、すぐれた知性（学力）、豊かな心（協力）を備え、自ら考え正しく行動できる生徒の育成</p> </div> <p style="text-align: center;">↑</p> <p>(3)「本校の課題」解決に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学力の定着（学ぶ意欲）に課題 ○生徒指導上（規範意識の不足等）に課題 ○3年間を見通した系統的キャリア教育プログラムがない（マンネリ化した職場体験）に課題 <p>2 課題解決に向けて</p> <p>(1)全校生徒が、ワクワク・ドキドキ感をもちながら延岡を探検し、延岡（ふるさと）の良さを見付ける、再発見する活動の実施</p> <p>(2)職場訪問をとおして、延岡で夢や希望をもって働く大人のかっこよさに気づき、生徒自身の将来の夢実現につなげる体験活動の実施</p> <p>(3)延岡で何ができるかを考え、延岡の将来について大人とともに考える活動の実施</p> <p>3 本事業実施後に期待される効果（仮説）</p> <p>(仮説1) 信頼される学校の実現につながるであろう</p> <p>(仮説2) キャリア教育を基盤とした学力向上につながるであろう</p> <p>(仮説3) コミュニティ・スクールの推進につながるであろう</p>

4 活動の実際

- 新型コロナウイルス感染症の拡大により大きく計画変更となったが、感染予防をし、工夫しながら本事業を実施した。
- 本事業は、全校生徒（1年・2年・3年）と全職員で取り組んだ事業である。職員及び各学年の取組の概要は次のとおりである。

（1）活動の事前準備・計画

【職員会では】

- 学校評価の結果分析（全職員で課題を共有）
- ドリームプランサポート事業について職員に説明し、アイデアを募集

【生徒会では】

- 学校の課題を共有
- 生徒から「こんな学校にしたい」を聞き取り
- ドリームプランサポート事業について生徒に説明し、アイデアを募集
 - イベント等の活動を生徒主体で実施し、生徒自身も楽しみながら、生徒ががんばっている姿を地域に発信したい。
 - 小学校にも本校を宣伝したい（岡富中オープンスクール）

【学校運営協議会では】

- 学校の課題を共有
- 自立した大人になるために、「中学時代に身に付けさせたい力」の聞き取り
- ドリームプランサポート事業について委員に説明し、アイデアを募集

（2）活動の実際【ゴールの姿】

延岡のヒト・モノ・コト 2020 in 岡富中（楠の葉祭）
（令和2年11月29日（日） 午前：EXPO 午後：PTAバザー）

- インプットしたことをアウトプットする場の設定
- 新型コロナ感染症拡大の影響で、生徒の発表は、事前に録画して保護者向けにビデオ上映する形で実施した。

（3）活動の実際【ゴールに向けて】

〈第1学年の取組〉

～触れる・発見する（延岡のヒト・モノ・コト）

★県環境教育推進事業も活用（予算25万円）

- ①延岡で環境学習に力を入れている講師の講話（谷平さん）
- ②コノハナロード活動（講話・植栽・風車）
- ③延岡とゆかりの場所・環境に配慮している場所を巡る修学旅行（修学旅行の行程を調べ楠の葉祭で発表し、保護者による投票）
※投票の結果を基に業者に予算内で行程表を作成してもらい次年度の修学旅行を実施予定。

（第2学年の取組）


～体験する・感じる(延岡のヒト・モノ・コト)～

- ①「新しい職場体験の在り方」ドリームプラン・バスツアー
～延岡で何ができるか・カッコいい大人発見の旅～
「働く喜び・誇り」「安心・安全」「伝承・伝統」「技の広報活動」の4つの視点から働く大人を写真撮影
- ②「はたらくすがた」写真コンテスト応募
 - 市教委（伊東洋之 学校支援対策監）による講話
「働くとは」「人物を写真で切り取るテクニック」
 - これまで15年間続いてきた写真コンテストが、コロナの影響で中止になる。
 - 写真撮影のプロ「西階カメラ甲斐さん」から人物撮影のテクニックを学ぶ。
 - 学級での写真プレゼン大会（訪問先企業の方を招いて）
 - 校内文化祭でコンテストを実施（保護者による審査）
- ③「ひなた場」（延岡で活動する20人との対話）
～対話型キャリア教育プログラムを活用して～
生徒と延岡に住む大人（若手社会人）が互いに人生を語り合う活動を通して、将来を考える。
 - 大人が語る人生紙芝居
 - 若手社会人と個別対話
- ④「立志式」
～これからの生き方を考える～
 - スポーツインストラクターによる講話
 - 岡富中出身の弁護士による講話
 - ホテルプロジェクト顧問による講話

（第3学年の取組）

～発信する・未来へ繋ぐ(延岡のヒト・モノ・コト)～

- ①延岡の会社PR作戦（CMづくり）
 - 映像制作のプロから学ぶ（ケーブルメディアワイワイのディレクターを招いて）

	<p>②延岡の将来を考える ○延岡市長へのインタビュー</p> <p>(<u>全学年での共通した取組では</u>) <u>延岡のヒト・モノ・コト 2020 in 岡富中</u> (楠の葉祭・バザー) ○発表・展示・修学旅行審査・写真コンテスト 等</p> <p>(<u>職員研修等では</u>)</p> <p>①「ひなた場」における人生紙芝居について ②県外視察 ○大正大学（地域創生学部）座・ガモール ○みらいずworks（新潟県）  コロナの関係で中止し派遣先変更 ○岡山県立津山東高等学校訪問 高校生による地域の魅力発信 地域企業プロモーションビデオ作成 ③のぼり旗作成「延岡探検隊」 ○美術科教諭が下絵を作成</p>
事業の効果等	<p>■本事業をきっかけとして、3年間を見通した「ふるさと学習」またあらたな切り口で行う「職場体験学習」の基礎ができた。</p> <p>■文化祭で各学年毎の取組を保護者に発表することで、社会に開かれた教育課程の具現化が図れた。</p> <p>■地域の企業・のべおか産業観光研究会等と繋がることで、これまで学校だけで実施してきた職場体験学習の整理ができ、働き方改革にも繋がった。</p> <p>■マナー化した職場体験を探究型の体験にすることで、働くコトへの意識が高まり、学ぶ意義を考える生徒も出てきている。</p> <p>■学校運営協議会の意見も取り入れながら本事業を実施したため、「こんな学校にしたい」という学校の思いを地域にも伝えることができた。</p>
特記事項等	<p>■「岡富中で学んだ子供は、社会を見る目が養われている」、そう評される生徒を育てたい。世界の大きさは違えども「ふるさとから延岡を含めた外の世界を見ようとする子供を育てたい。」という全職員の思いから、次年度も総合的な学習の時間を大切にしたいという職員の意識が見られるようになった。</p> <p>■本事業を実施することで企業側にもメリットが大きかったということを各社長から伺った（職員の意識改革・若手職員の育成・会社のイメージアップ・宣伝効果等）。</p>